

上関町の財政を考えるシンポジウム

上関町が「破綻」って、 「財政が厳しい」ってどうなってるの？

阿武町がはじまって以来、
最大の人口社会増ってどうして？

高知県の東洋町、
核廃最終処分受け入れ騒動を経て、
今の財政状況は？

上関町の最大の収入源は
地方交付税です…？

2024年6月22日(土)

13:30 ~ 15:30

上関町総合文化センター

(熊毛郡上関町大字室津904-15)

【入場無料】

2021年(令和3年)度「市町村別決算状況調」より 単位：千円

自治体	人口 (人)	歳入総額	地方税A	地方交付税 B	国庫支出金 C	(電三金)	県支出金	A+B+C
上関町	2,505	4,419,006	179,457	1,917,251	534,275	(79,347)	194,099	2,630,983
阿武町	3,118	4,529,305	287,550	1,997,103	822,257	(0)	221,913	3,106,910
東洋町	2,239	3,815,908	161,868	1,797,000	507,419	(0)	228,882	2,466,287

* 電源三法交付金は国庫支出金として交付されています。

講師には、元 今立町議（現 越前市）で
関西学院大学講師を務められた山崎隆敏さん
をお招きし、阿武町や東洋町など、同じ
人口規模の自治体と上関町を比較すること
で上関町の財政状況を検証するほか、すべ
ての自治体に一定水準の財源を保障するた
めの制度である「地方交付税制度」につい
て解説します。

2045年推計で人口913人。昨年末に発表された上関町の未来です。人口減少・超少子高齢化の先頭に位置し町勢衰退の現状にあります。

この現状もあってか、西町長は「このままでは上関町（の財政）は破綻する」として、新たな町の振興策を中国電力に求めました。中国電力からの答えは中間貯蔵施設です。

2011年の福島原発事故以降、原発建設計画が宙に浮いたままになっています。町内では「原発に頼らないまちづくり」が模索され、上関町の未来にむけたいくつかのチャレンジも始まっています。

人口減少、超少子高齢化の進展、地域衰退の現状にある自

治体は上関町だけではありません。自治体財政が厳しい状況にあるのも上関町だけではありません。県内にも多く存在し、それぞれが知恵を絞り、工夫し、努力を重ね未来を切り開こうとしています。このシンポジウムを機会として、上関町の財政について学習し、正しい理解の上に、未来に続くまちづくりを進めていきましょう。

上関町のチャレンジは、始まったばかりです。

主催

原発に反対する上関町民の会
上関の自然を守る会
原水爆禁止山口県民会議

上関原発を建てさせない祝島島民の会
原発いらん！山口ネットワーク

お問合せ：山口市元町3-49 TEL 083-924-8145（原水爆禁止山口県民会議事務所）